

報道機関各位

熊本大学

有明海・八代海の自然環境・社会環境の再生・創生を目的とするシンポジウム
「水環境が支える熊本のまちづくり ―地域と熊本大学との協働・実践―」
の開催について

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センターでは、有明海・八代海の自然環境・社会環境の再生・創生を目的とするシンポジウム「水環境が支える熊本のまちづくり―地域と熊本大学との協働・実践―」を令和2年1月11日（土）に開催いたします。

つきましては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしくお願いたします。

記

【日 時】令和2年1月11日（土）14：00～16：30

【場 所】くまもと森都心プラザ 6F 会議室 AB （熊本市西区春日1丁目14-1）

【対 象】どなたでも参加できます

【参加費】無料

【申込方法】お名前・参加人数・ご連絡先を明記の上、下記メールまたはFAXでお申し込み下さい。

■メール：rmatsuda@kumamoto-u.ac.jp

■FAX：096-342-3510

※詳しくは別紙チラシをご覧ください。

【お問い合わせ先】

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター

TEL：096-342-3498

水環境が支える熊本のまちづくり

- 地域と熊本大学との協働・実践 -

有明海・八代海の自然環境・社会環境の
再生・創生を目的とするシンポジウム

入場無料
当日参加可

2020年 1月11日(土) 14:00~16:30

くまもと森都心プラザ 6F 会議室AB (熊本市西区春日1丁目14-1)

「火の国」熊本は、「水の国」でもあります。白川、緑川、菊池川、球磨川の4つの河川流域が存在し、それぞれが豊かな自然環境と地域社会を形成しています。良質な地下水に恵まれ、水道水の大部分を地下水で賄う、世界的にもまれな都市でもあります。また、海に目を転ずると、そこには広大な干潟を誇る有明海・八代海があります。しかし、一方で、水害や高潮、地下水の減少・水質悪化、魚介類の減少など、水に関連する多くの問題が熊本には存在しています。

熊本大学の「くまもと水循環・減災研究教育センター」は、このような流域の抱える問題に応えるため、行政や市民とも協働し、地域の抱える多くの問題に取り組んでいます。今回、河川流域に関するシンポジウムを企画しました。皆様の身近な地域の環境改善、社会づくりにおいて、熊本大学との協働の可能性を探しに、ご来場頂ければ幸いです。

<プログラム>

13:30 会場、受付開始

14:00 挨拶 逸見 泰久(熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター)

第1部 話題提供

1. 竹内裕希子(熊本大学 大学院先端科学研究部)
「2012年九州北部豪雨災害後の防災教育事例」
2. 大田黒輝幸(おおきく土地改良区)
「熊本の地下水保全における土地改良区の役割」
3. ジェyson・モーガン(白川バンクス)
「まちづくりから見る水辺の可能性」
4. 逸見泰久(熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター)
「日本一のハマグリ生産県・熊本」

第2部 パネルディスカッション

「地域との協働・実践における大学の役割」

モデレーター: 田中 尚人(熊本大学 熊本創生推進機構)

討論者: 話題提供者および参加者

研究分野間の協働、行政や市民団体との協働について、会場からの質問も交えて話し合います。

お名前・参加人数・ご連絡先を明記の上、下記メールまたはFAXでお申し込み下さい。

お申込先メール: rmatsuda@kumamoto-u.ac.jp

TEL: 096-342-3498 FAX: 096-342-3510

お申込期限 2020年1月6日(月)17時まで

お問合せ 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 沿岸環境部門